

## 今後の海賊版対策のあり方について

本日は貴重な会合へのお誘い、誠にありがとうございました。

複製や頒布が容易なデジタル時代のただ中、コンテンツ文化を破壊し、衰退させる海賊行為を取り締まることは、社会が直面する大きな課題です。

私たちマンガ家も、この問題に関してなんとか対策を打ち、再発を防止する手立てを模索しているところです。

しかし同時に、その対策が社会に不自由さや萎縮をもたらしてしまつては、現在までの日本に先達から受け継がれてきた、文化的実りの多い豊かな土壌自体を荒廃させてしまいかねない、と危惧もしております。

であればこそ、今後打たれる施策は、可能な限り海賊行為だけにその効力を発揮し、一般社会への深刻な副作用が生じないものであることが望ましいと考えます。

そのために実行できる手立てとして、まずは広告出稿規制を即時、容易に発動できる事、そしてリーチサイト規制ではないでしょうか。

また、違法とされる範囲が適切に設定されたうえでダウンロードを規制する方法を模索すると同時に、アップロードの方を重点的に取り締まる画期的な手立ても研究、開発されて欲しい、と思います。

一般の方々に対する著作権教育の必要性はもちろん感じますが、それよりも正規版コンテンツの利便性と内容の充実をはかり、誰にでもはっきりとわかる形で正規のご利用を促すことが重要だと考えます。

私たちはこの間の海賊版対策に関わる、全ての関係各位とその試みに対し、心から感謝しております。

海賊版を無くそうとする、その目標が一つである以上、必ず理想的な対策方法が生まれてくると、信じて疑いません。

これからも引き続き、よろしく願いいたします。

平成31年4月23日(火)

公益社団法人日本漫画家協会 理事長 里中満智子